

トムス UX リヤアンダースポイラー

このたびはトムス UXリヤアンダースポイラー（以下スポイラー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。

本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。（2019年8月現在）

レクサス UX200/250h MZA1#/MZAA10 平成30年11月～ レクサス純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

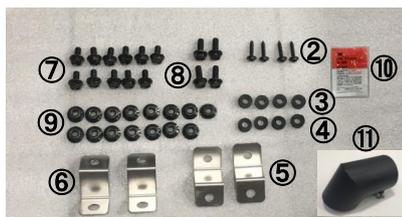
1. リヤアンダースポイラー取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
2. リヤアンダースポイラー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルトはしっかり締めてください。また、走行前にゆるみがないかチェックしてください。
リヤアンダースポイラーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
3. 車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
4. 塗装に際しては以下の点にご注意ください。
（詳しくは「リヤアンダースポイラー素地品の塗装手順」を参照の事）
5. ビスの取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと部品を破損する恐れがあります。
6. 両面テープの接着力促進剤として、必ずプライマーを塗布してください。
（詳しくは「3M PACプライマー-N-200 取扱説明書」を参照の事）
ボディコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコール等で拭き取り除去してください。
7. 両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼付けを行ってください。
8. 両面テープの接着力低下防止のため、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
9. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
10. リヤアンダースポイラー装着により、標準バンパーより全長は約48mm長くなり、地上高は約45mm低くなります。
11. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
12. 塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

構成部品 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

【リヤアンダースポイラー 構成部品】

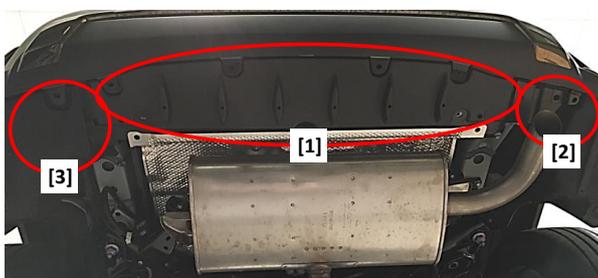


①



- ① リヤアンダースポイラー x1
- ② タッピングスクリュー(M4×20) x4
- ③ ゴムスペーサー(5mm) x4
- ④ ゴムスペーサー(3mm) x4
- ⑤ ブラケットφ8/φ10(25×25×25mm Z型) x2
- ⑥ ブラケットφ8/φ10(27×25×25mm Z型) x2
- ⑦ フランジボルト(M6×12) x11
- ⑧ フランジボルト(M6×16) x4
- ⑨ フランジナット(M6) x15
- ⑩ プライマー x1
- ⑪ マフラーカッター x1

取付手順



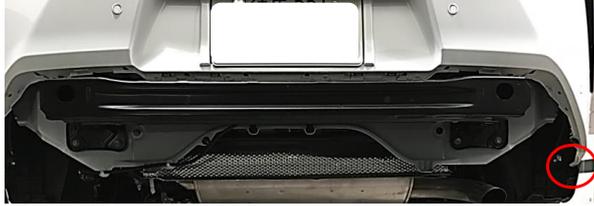
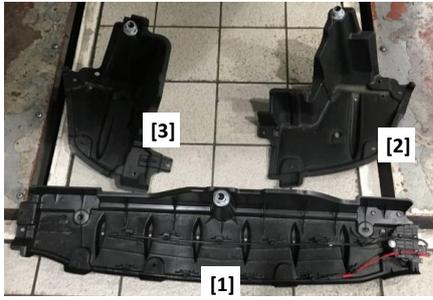
【図1】

【リヤアンダースポイラーの取り付け】

1. 車両から左図[1]リヤボディフロアーカバー-RR、[2]フロアーアンダーカバー-No.1、[3]フロアーアンダーカバー-No.2を取り外す。

※詳細はトヨタ自動車㈱発行[整備要領書]を参考にする。

【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

2.車両からリヤバンパーカバー-LWRを取り外す。

【図2】

※左図赤○の車両端部クリップは再利用します。

※写真はRH側です、LH側も同様に行う。

3.取り外したリヤバンパーカバー-LWRからリフレクター(RH/LH)バックランプ(RH/LH)を取り外す。

※詳細はトヨタ自動車㈱発行[整備要領書]を参考にする。

※取り外した車両ビスは再利用します。

【図3】

4.①スポイラーにリヤバンパーカバー-LWRから取り外したリフレクター(RH/LH)をはめ込み、バックランプ(RH/LH)を車両ビスにて固定する。

【図4】

※写真はLH側です、RH側も同様に行う。

5.車両リヤバンパーのゴミ・ホコリをウエスにて除き、①スポイラーを車両下方から⑦フランジボルト、上方から⑨フランジナットを使用して仮締めを行う。また車両端部は車両クリップを使用し固定する。

【図5】

※写真はLH側です、RH側も同様に行う。



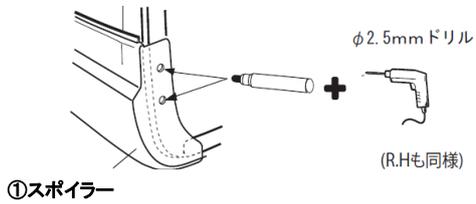
【図5】

6.①スポイラー取り付け位置を確認し、養生テープ等にて固定した後、タッチ面アウトラインをエンドモール上端に合わせマスキングテープにてマーキングする。

【図6】



【図6】



【図7】

7.フェンダーアーチ部の取り付け位置を合わせてマーキングし、φ2.5mmの穴を2カ所空ける。(RH/LH)
【図7】



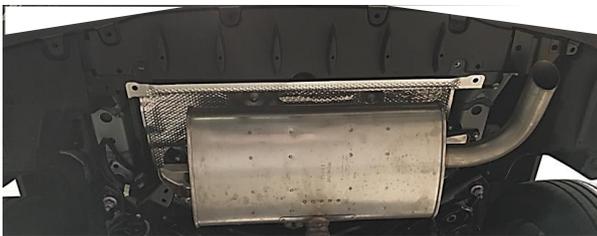
マーキングが正しく行われないと①スポイラーが正しい位置に取り付けられず脱落の原因になる。



穴を開ける時両面テープが、バンパーに面あたりしているか確認する。



8.車両から取り外した左図[1]リヤボディフロアーカバーRR、[2]フロアーアンダーカバーNo.1、[3]フロアーアンダーカバーNo.2を取り付ける。
※詳細はトヨタ自動車㈱発行[整備要領書]を参考にする。
【図8】



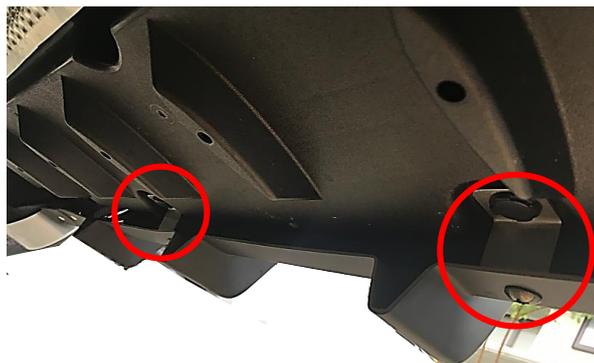
【図8】



【図9】

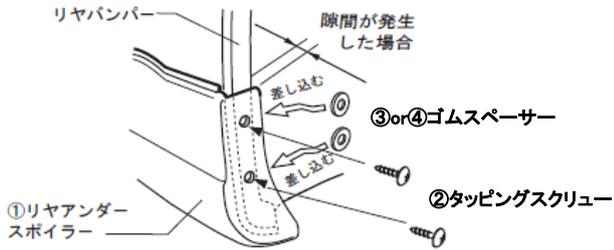
9.①スポイラーサイド部に⑥ブラケットを車両下方から⑧フランジボルト、上方から⑨フランジナットにて仮固定し、[3]フロアーアンダーカバーNo.2と車両から取り外したクリップにて固定する。
【図9】

※写真はLH側です、RH側も同様に行う。



【図10】

10.①スポイラーと[1]リヤボディフロアーカバーRRを車両下方から⑧フランジボルト、上方から⑨フランジナットにて仮固定し、車両から取り外したクリップにて固定する。
【図10】



【図11】

11.フェンダーアーチ部を②タッピングスクリーにて左右計4ヶ所共締めする。

【図11】

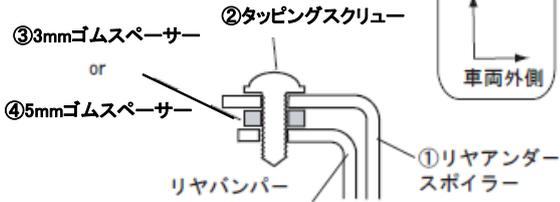
注意

フェンダーアーチ部のタッピングスクリーを締めすぎると、破損、変形の原因となります。また、圧着された両面テープに隙間を発生させる原因となる恐れがあります。

アドバイス！

①スポイラーの増し締め作業の際にフェンダーアーチ部に隙間が発生する場合は、③or④ゴムスペーサーのうち適した物を挟み込んで取り付ける。

取付断面図



12.純正マフラーテール部分を左図を参考にマーキングを行い、カットする。(テール下端部より約50mm)

13.カットした純正マフラーテールパイプ部に⑪マフラーカッターを奥まで差し込み、M6ボルトを締め込む。

【図12】

※①スポイラーとのクリアランスを必ず左図を参考に確保してください。(30mm以上)



※実際の量産品は黒塗装済みとなります。

【図12】



(お問い合わせ先)
株式会社 トムス
TEL; 03-3704-6191
月～金 AM9:00～PM6:00

TOM'S

リヤアンダースポイラー素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

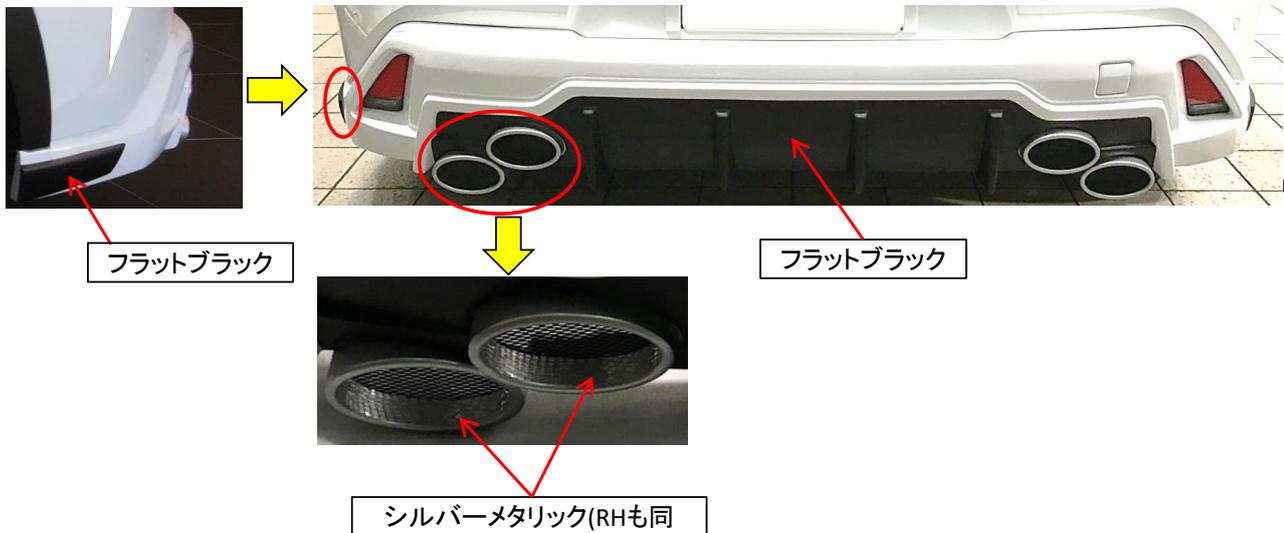
塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- | | | |
|-----------------------------|--|--------------------------|
| ①リヤアンダースポイラー x1 | | ⑧ブラケット(30×26×25mm Z型) x2 |
| ②T字ゴムモール(テープ付/800mm) 黒 x1 | | ⑨フランジボルト(M6×16) x4 |
| ③T字ゴムモール(テープ付/800mm) グレー x1 | | ⑩フランジボルト(M6×16) x4 |
| ④タッピングボルト(M4×20) x4 | | ⑪フランジナット(M6) x4 |
| ⑤ゴムスペーサー(5mm) x4 | | ⑫プライマー x1 |
| ⑥ゴムスペーサー(3mm) x4 | | ⑬マフラーカッター x1 |
| ⑦ブラケット(27×55×25mm Z型) x2 | | |

I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 本製品は下記塗り分け塗装を行う。塗装加熱温度は60度以下で行うこと。



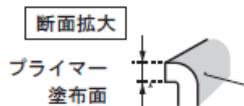
注意
本製品はABS樹脂製のため適切な塗料を使用する。

注意
60度以上の加熱は製品変形の恐れがあります。

II モール貼り付け作業

1. 塗装終了後、②or③T字ゴムモールの仮付けを行う。

注意
プライマーが塗装面に付着すると、塗装を傷める為はみ出し等に気を付けて作業する。



2. ②or③T字ゴムモールの貼り付ける部分を脱脂し、⑫プライマーを塗布する。

3. 下記の要領で②or③T字ゴムモール剥離紙を剥がしながら貼り付ける。

※写真はRH側です、LH側も同様に作業を行う。

注意
モールの圧着は、車両が少しゆれる程度 [49N (5kgf/cm²)] で行なう。